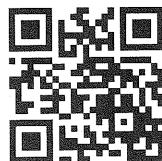


# あふろーち

http://u-40.seesaa.net/



第54号

平成18年10月1日  
発行責任者  
綾瀬市商工会青年部  
部長 秦野耕一  
《情報委員会》  
委員長 村上隆至

## 観客数8万人！ 第31回綾瀬市商工会青年部花火大会開催

8月後半になると、我々青年部員の最大の関心事は天気予報です。近年、夕立や局地的な大雨など、天候が不安定で少々心配なところはあったのですが、8月26日(土)の花火当日、朝起きてみるとやっぱり曇り。雨さえ降らなければ太陽がサンサンと顔を出しているより準備も楽なのですが、何とか夜まで持つて欲しいところです。

今年は、去年と交通規制が変わり、一昨年とほぼ同じ規制になりました。それだけ多くの人が見に来てくれるということ、そしてその方達の安全を考えてくれた多くの方々のご協力のおかげです。

さて、日中に開催されるいきいき祭りは、雨が降ることもなく順調にプログラムを消化していきます。しかしながら感じたことは、お客様が少ないのではないか？ということでした。天気のせいでしょうか？時間がまだ早いから？ちょっと心配しながら青年部は、いつもどおり模擬店を出していました。

模擬店といえば、青年部ブースの前に、今年も3つの花火模擬弾を展示しました。7号玉、10号玉（尺玉）、15号玉（尺五寸）の合計3発、これには子供も大人も興味津々の様子でした。もちろんレプリカの花火ですから、中に火薬は入っていませんので、多くの方が子供さんに花火を持たせて記念撮影をしていました。

午後3時になり、いよいよ青年部にとっての本番がやってまいりました。そう、警備体制の始まりです。例年、この警備で我々青年部員はかなりの労力を使うのですが、今年は観客の方のモラルが向上したおかげか、今までと比べると立ち入り禁止ラインでのトラブルも少なく、非常に警備がしやすい年でした。一人が破れば、みんなも守らないというのが集団心理ですから、31回目を迎え、我々が毎年やってきたことが少しづつ皆さんに理解されてきたのではないかと思っております。

やがて会場は暗くなり、打ち上げ時間まであと30分というところで、思わぬ事態が・・・。「小園方面で土砂降りの雨」という情報が入ったのです。今になってみれば、多分間違いであったと思うのですが、その時、部員たちは皆、「頼むから打ち上げが終わるまで持ってくれ・・・」と祈っていたことでしょう。

そして午後8時。打上開始です！スターマインから始まり、休む間も無く打ち上がっていきます。2千発を30分で打ちつくすのですから、かなりの迫力です。素

晴らしいスターマインや尺玉など、打ち上がる度に歓声が会場を包みます。

そしていよいよクライマックス、尺五寸の打ち上げです。大きな爆音とともに上空400メートルまで打ち上がり、それまでの花火とは段違いの大きさに改めて吃驚。その大輪の花は長い尾を引き、観客の頭の上に落ちてきそうです。会場からは大歓声と拍手が沸き起こっていました（この瞬間が我々にはたまらない時なのです）。そしてラストのスターマイン！やっぱり迫力が違います。金色に夜空が染まり、大歓声と拍手の中、青年部の夏も終わりを告げました。



花火翌日、祭りのあと・・・

翌日の午前5時半、恒例の花火カス拾いがありました。今年は、新たな取り組みとしてボランティアの方を募集しました。なかなか花火のカス拾いなんて体験できることですから、来年もやることになったら是非、参加してみてくださいね。作業終了後に、ボランティアの方に素敵なプレゼントがありました。それは花火師さんに作ってもらった特製ミニ花火玉ストラップです。とても喜んで頂き、よかったです。ボランティアに参加頂いた皆さん、有難うございました。

※詳細は青年部ホームページに載っています。カラー写真もありますので、是非ご覧下さい。青年部ホームページの見方は3ページにて解説しています。

## 講演会研修 ～防犯について～

8月4日(金)、商工会館にて講演会研修が行われました。新研修委員会になって初めての講師の方をお招きした本格的な研修会です。今回、研修委員会が選んだ題材は、今や増える一方の犯罪、空き巣や強盗などの防犯についてです。

今回は、株ネエチアさんにご協力いただき、「綾瀬市内の防犯動向とそれに対するセキュリティ方法」を講義していただきました。

講師は(株)ネエチアの島田儀美警備業務課長です。島田課長は元刑事で、犯罪についてのプロフェッショナルでもあります。特に今回は侵入窃盗、いわゆる「空き巣」への対策について講義していただきました。

最近よくホームセンターやスーパーに行くと見かける「防犯グッズ」コーナーのものはどれだけ使えるのでしょうか?なかなか見ただけではわかりにくいものや、本当にこれが使えるのか?色々聞いてみたいと思います。早速研修開始です。

近年は短時間の侵入を連続して行ったり、侵入方法も破壊を伴うような乱暴なケースが増えているそうです。泥棒も、より効率のよい方法を考え、その手口も進化しており、水と安全は無料!今まで言われてきていたわが国の安全も、もはや神話になってしまったようです。

ちなみにホームセンターで売っているお手軽な防犯グッズでも、なんにもやらないよりははるかにマシだそうです。そして万一、侵入された場合でも、金庫があるかないかによっても被害は全く違うそうです。但し、夜間の事業所など、侵入者に時間の余裕がある場合は、いわゆる「耐火金庫」として売られているものは、用具さえあれば簡単に開いてしまうとか。怖い世の中です。

また、近年、家庭用セキュリティシステムの需要は高まるばかりだそうですが、アメリカやヨーロッパなどと比べると、まだまだ日本では一般家庭での普及率は比べものにならないほど低いようです。やはり皆さん、「日本は安全」という固定観念がいまだ強く、危機意識が低いということでしょうか?

ちょっとした防犯意識で、守れるものがあるということを認識できた研修会でした。



## 7月度レセプション ～先輩に聞く青年部規約～

今回は、歴代部長を招いての「規約に関する勉強会」です。40周年を迎える青年部の各時代における規約の成り立ちと移り変わり、その解釈と運営実情を講義していただきました。

初めに講義していただいたのは第6代部長、近澤紀久さんです。

今となっては、青年部の看板行事となった「花火大会」と「桜まつり」ですが、その立ち上げに関わった大先輩の貴重なお話をしました。

「今の部員は規約をよく理解していることでしょう。しかし、その規約の本当の部分を理解していないと、青年部としての基本的な心構えから逸脱してしまう。青年部とは、熱く楽しく活動することに意義がある。そのための規約である」と力強くおっしゃっておりました。

続いては、第15代部長の平本康雄さんの講義です。平本さんは、部長としてだけではなく県青連の副会長として、多くの外部の方とも交流をもたれました。その貴重な人脈は、今の人間関係にも大きく影響し役に立っているそうです。それは、とりもなおさず青年部活動に真剣に取り組んだなによりもの功績でしょう。

「青年部として活動するからには、楽しくなければいけない。楽しいのが青年部だ。自分は、きっと全国の青年部員の中で、もっとも楽しかった青年部生活を送った部員だろう。」そう言い切れるほど、充実した活動をしてこられたのだと思います。部員全員が最後には平本さんのようになれればベストなのでしょう。思い出話をするとその顔は、明るくとても輝いていました。

最後に第7代部長、笠間茂治さん(現県議会議員)です。「創成期の青年部は、ベンチャー精神あふれる創業者達が作り上げた。今は2世、3世の時代になり、とてもスマートな青年部になっている。かつての創業者意識を持ち、自ら行動し、考える事。そしてチャレンジすること。それこそが青年部である。」とお話ししてくださいました。

皆さん、口を揃えて「楽しむということ」を主張されました。我々青年部は40歳までの若い集団です。50歳60歳になってまで失敗は出来ない、失敗すれば取り返しもつきません。しかし青年部にいるうちは、失敗など恐れずに行動し、結果を受け止めて進んでいくべきだと仰るお三方の心は、現役部員に伝わったことと思います。

温故知新ではありませんが、その時代時代の青年部の様子と、どんな思いで青年部に取り組んでいたのか。それを今の部員達に伝えるとても貴重で有意義な勉強会になりました。

3人の先輩方ありがとうございました。

## 今事業委員長、あめごと～

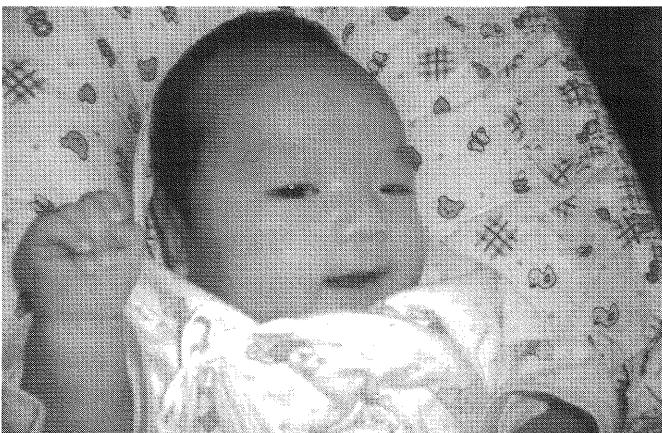


9月9日(土)、横浜インターナショナルホテルにて、今寿義君の結婚式が開かれ、青年部からも多数が出席しました。披露宴では、今君の人柄か(?)会場は青年部員を中心に大盛り上がり。とても楽しい披露宴でした。

奥様の自乃(よしの)さんとお幸せに!!

## 村上君の二人目が生まれましたよ～

6月18日、待望の第二子が生まれました。男の子で、名前は「隆太郎」です。立派なモーグルスキーヤーになるよう、大切に育てたいなと思う今日この頃です。



## 第31回青年部花火大会協賛金の御礼

今年も無事、花火大会を終えることが出来ました。御協賛頂いた企業の方々、また個人の皆様に、厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

### 花火大会御協賛者・ルックあやせ未掲載分

(敬称略、順不同)

#### ■2万円以上の部

(有)比留川システム企画

#### ■1万円以上の部

熊田宣昭

#### ■5千円以上の部

(有)小川工業

居酒屋 大安

#### ■5千円未満の部

浜田元邦

※ルック掲載分に間違いがございました。訂正すると共にお詫び申し上げます。

#### ルックあやせ1万円以上の部

(有)大都工業を「あ行」に掲載していましたが、正しくは「た行」に掲載しなければなりませんでした。正：「だいとこうぎょう」

## 主張大会感想・矢澤君

皆さんこんにちは、綾瀬市商工会青年部、部員の矢澤邦男です。商工会青年部に入部してから、今年に入ってもう8年。。。ナガッ！！

体育会系育ちの行動派、騒ぐの大好きで、先輩達から叱られてばかりの小僧だった自分には無縁だと思っていた、あの『主張大会』。とうとう、自分が捕まってしまいました(笑)。自分にこんな大それた役を任命して、その何ヶ月か後に笑顔で卒業していった、前相談役の(某)奥山 哲也さん！！今でも色々な意味で感謝しています！？！？(笑)。役を受けた当初、一体何から書き出したら良いのか。。。悩む日々でした。それでも相談に乗って下さった過去の出場者及び、部員の皆さんのお陰で頑張ることが出来ました。「今、自分の思っている事を自分の言葉で、聞いている人に解り易く伝える」。。。簡単に思っていましたが、やってみたら全然難関でした(汗)。毎晩の文章校正で寝不足続き、目の下にクマを作りながら大変な役を受けてしまったと、泣きを見る日も沢山ありました。。。それでも、日を重ねる度に自分の伝えたい事に対しての気持ちと感情が高まっていき、楽しく感じたときは!! 少々かな(苦笑)。

しかし、部の代表として県央ブロック・県大会と、自分の思いや言いたいこと、沢山言わせて貰ってきましたよっ。(へへ)v

残念ながら、自分は県大会までしか自分の話を聞いて貰う事が出来なかつたのですが。。。そこまでの過程と経験を、これから青年部活動と自分の糧にして頑張っていきたいと思う、貴重な体験をさせて貰いました。この場を借りて、応援してくださった皆さんに感謝の気持ちを。そして、商工会の皆様には『継続は力なり』という言葉を我々が実行できるように、これからも温かい目で、商工会青年部を応援してください。有難うございました。

## 10月～11月 活動予定

■10月後半 10月度青年部レセプション

■11月 2日 講演会研修「裁判員制度・前編」

■11月11日 あやせ商工フェア(模擬店参加)

## 編集後記

花火大会、主張大会と、大忙しの青年部の夏も終わりました。部員たちはちょっと充電期間？でも青年部HP(ブログ)は一年中元気です！ぜひ一度アクセスしてみてください！

### ■青年部ホームページの見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net/>もしくは、どの検索エンジンでも「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れれば直に行きます。

携帯から見る場合は同じくアドレスを入力するか、「あぶろーち」表題にあるQRコードを読み込んでアクセスして下さい。

# 2006年主張大会・完結編

## ～県大会～

7月24日（月）、ホテル横浜ガーデンにて県大会が行われました。前号でお伝えしたとおり、ブロック予選で優勝、準優勝のワンツーを決めた中元君と矢澤君が、関東大会を目指して出場します。

今回の県大会は、主張者の発表前に、所属青年部による応援タイムが設けられました。応援タイムとは、仲間による熱のこもった応援で、主張者のテンションを上げていこうというものです。

我らが綾瀬代表の中元君の順番がやってきました。我々も、一生懸命考え、練習に練習を重ねた応援をする時がきました！

「なかもと やすよし」あいうえお作文！いってみよ～。

な！ ナイスガイな青年部員！

か！ 書くことが仕事の行政書士！

も！ 目標に向かって突き進む！

と！ 止まらぬ思いを今日この場で！

や！ やらせでは無く！

す！ 進んで志願した熱いヤツ！

よ！ 予約済みだよ祝勝会！

し！ しっかり結果を出してくれ！

そして中元君の発表が始まりました。何回も練習会を開いた成果で、全く危なげなく発表は終了しました。

続いて、矢澤君の発表です。こちらも、矢澤君のキャラクターに合った応援を一生懸命考えたのです。

「やざわ くにお」あいうえお作文、気合だ～！

や！ やんちゃな青年部員！

ざ！ 在籍期間、もうすぐ8年！

わ！ わいわい騒ぐの大好きで！

く！ 車大好き、でもポンコツ！

に！ 2位なんかじゃ許さない！

お！ 大きな舞台で熱い思いを語ります！

矢澤君の主張発表が始まりました。矢澤君も、普段とは大違い（失礼）な、真剣な眼差しで、熱い主張を行い、その態度も実際に堂々としていて立派でした。

そして結果発表です。矢澤君は惜しくも入賞を逃しましたが、中元君が準優勝することが出来ました！本来、優勝者のみが関東大会に進出できるのですが、今年の関東大会は神奈川で行われるために、地元枠として2名が出場となるので、めでたく中元君の関東大会出場が決まったのでした。昨年の笠間功治君に続き、2年連続の関東大会出場は、創部以来初の快挙です。

## ～関東大会～

9月12日（火）、大磯プリンスホテルで関東大会が開かれました。中元君の応援のために平日にもかかわらず、多くの部員が会場に向かいました。

関東大会は我々にとって3度目のチャレンジとなるわけですが、中元君はこの大舞台にもまったくひるむことなく、正々堂々とした最高の発表を披露しました。全国大会出場の期待が高まるなか、結果発表へ。

しかし残念ながら今回も入賞を逃す結果になってしまいました。それでも講評では「青年部の未来への言及があったのは綾瀬だけでした」という評価をいただきました。これをヒントに、来年も部員全員で主張大会に挑みます！矢澤君、中元君、本当に疲れ様でした！

## 中元君から一言

まず、今年の栄えある主張大会の出場者として選出させていただき、ありがとうございました。また、原稿作成や模擬発表、当日の応援など多くの皆様に支えていただきありがとうございました。

今回の主張大会においては、自分の苦手なところでもある「人前で自分の思いを伝える」という貴重な体験ができたこと、また、他の単会の方と交流ができたことなど、当初考えていたことより思いのほか楽しい限りでした。ただ、原稿書きだけは物凄く苦しかったのですが。

思い返せば小林研修委員長より、正式に今年の主張大会の参加者として参加しないかと話しがきたのが、今年の4月の半ば過ぎであり、ゴールデンウィークを潰してあわてて原稿を書き上げたのですが、最初にできた原稿はたったの3行。「これで6月の県央ブロック大会は大丈夫なのか・・・？」という焦りもありましたが、数回の模擬発表会や原稿チェックなど皆様に支えていただき、何とかそれらしく仕上がりました。お陰様で県央ブロック大会では優勝。続く県大会では準優勝とすばらしい成績となりました。これは私一人ではなく、皆様の支えにより成し遂げたものと思っております。そして昨年に続き関東大会に出場こそできましたが、残念ながら入賞には至らず残念でした。私個人、持てる力を全て出し切った結果ですので悔いはありません。ただ、ここまでくるとやはり欲というものが出てきまして、この「関東大会」という一山を越えてみたくなってきます。来年以降に出場される方には是非、関東大会において「綾瀬あり」という功績を残していただき、その先の全国大会へと駒を進めさせていただきたいと思います。

最後になりましたが、今回の主張大会においてお世話になりました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

